

2025

学校案内

美術科

舞台表現科

音楽科



山川侑亜「凧」(彫刻専攻)



東京都立総合芸術高等学校

芸術教育の学びの場へ

スクール・ミッション

「美術・舞台表現・音楽の芸術に関する専門教育を通して、我が国の芸術文化を支え、国内外での芸術文化活動により社会貢献する心豊かな人間の育成を図る」を教育目標とし、国際社会で活躍する一流のプロフェッショナルを育てるため、芸術の専門教育に注力するとともに、教育活動全般を通して人間尊重の精神を培い、自ら考え行動する自律的な人間を育成する。

本校の特色

美術科・舞台表現科・音楽科の3つの学科を設置した、都立高校で唯一の芸術科の専門高校です。

- 各年次構成は美術科2クラス、舞台表現科・音楽科各1クラス
- 少人数グループ編成による専門性の高い授業
- 選択科目の充実

各学科とも、専攻分野を深く学ぶための専門科目(★)を入学時に選択します。また、それぞれの学科の特性に応じて、表現の幅を広げるための選択科目(▲、○、◆)を用意しています。さらに、3年次においては、自由選択で専門性をより高めるための専門科目や受験に向けた普通教科の科目、芸術全般に関する見方や考え方を学習する科目等、それぞれの生徒の進路希望に応じた科目を最大で4～6単位学習することができます。



校舎棟



体育館棟 (アリーナ)



視聴覚室



講堂棟



講堂内 (ホール)



標準服

カリキュラム

2025 年度入学生（16 期生）のカリキュラム（予定）

■ 普通科目 ■ 専門科目 表内の数字は単位数（1単位とは、通年の場合週に1時間[50分]授業があることを示します）

■ 自由選択科目(国語演習、小論文演習、世界史演習、日本史演習、公共演習、数学演習、英語演習、情報デザイン、情報演習)

※舞台表現科は上記のほか歌唱があります

※音楽科は上記のほか実践楽典演習、応用楽典演習、実践ソルフェージュ演習、応用ソルフェージュ演習があります

単位数	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32				
美術科	1年次	現代の国語 2	言語文化 2	公共 2	数学Ⅰ 3	科学と人間生活 2	保健 1	体育 3	英語コミュニケーションⅠ 3	論理・表現Ⅰ 2	情報Ⅰ 2	HR 1	★専攻 3	素描 2	美術概論Ⅰ 1	構成 3				
	2年次	文学国語 2	古典探究Ⅰ 1	地理総合 2	数学A 2	生物基礎 2	保健 1	体育 2	英語コミュニケーションⅡ 4	家庭基礎 2	総合的な探究の時間 2	HR 1	★専攻 4	鑑賞研究Ⅰ 1	美術史 2	素描 映像専攻以外：4 映像文化研究 2 素描 映像専攻：2				
	3年次	文学国語 2	古典探究 2	歴史総合 2	体育 2	英語コミュニケーションⅢ 4	総合的な探究の時間 1	HR 1	★専攻 映像以外：6 ★専攻 映像：8		素描 映像以外：4 素描 映像：2		鑑賞研究 2	▲専門選択 2	自由選択 0～4					
舞台表現科	1年次	現代の国語 2	言語文化 2	公共 2	数学Ⅰ 3	科学と人間生活 2	保健 1	体育 3	英語コミュニケーションⅠ 3	論理・表現Ⅰ 2	情報Ⅰ 2	HR 1	演劇Ⅰ 2 舞踊Ⅰ 3	演劇概論 3 舞踊概論 2	*1を参照 *2を参照					
	2年次	文学国語 2	古典探究Ⅰ 1	地理総合 2	数学A 2	生物基礎 2	保健 1	体育 2	英語コミュニケーションⅡ 4	家庭基礎 2	◎芸術Ⅰ 2	総合的な探究の時間 2	HR 1	演劇Ⅱ 3 舞踊Ⅱ 3	◆演劇史 舞踊史 2	舞台表現(演劇) 舞台表現(舞踊) 2	▲専門選択 2			
	3年次	文学国語 2	古典探究 2	歴史総合 2	体育 2	英語コミュニケーションⅢ 4	総合的な探究の時間 1	HR 1	演劇Ⅲ 舞踊Ⅲ 4	創作演習(演劇) 創作演習(舞踊) 4	演劇論 舞踊論 2	▲専門選択 2	自由選択 0～6							
音楽科	1年次	現代の国語 2	言語文化 2	公共 2	数学Ⅰ 3	科学と人間生活 2	保健 1	体育 3	英語コミュニケーションⅠ 3	論理・表現Ⅰ 2	情報Ⅰ 2	HR 1	★専攻 1	音楽理論 1	ソルフェージュ 3	○第一副科 1 第二副科 1	合唱または合奏 2			
	2年次	文学国語 2	古典探究Ⅰ 1	地理総合 2	数学A 2	生物基礎 2	保健 1	体育 2	英語コミュニケーションⅡ 4	家庭基礎 2	総合的な探究の時間 2	HR 1	★専攻 1	音楽理論 1	音楽史 1	演奏研究 1	ソルフェージュ 2	○第一副科 1 第二副科 1	アンサンブル 1	合唱または合奏 2
	3年次	文学国語 2	古典探究 2	歴史総合 2	体育 2	英語コミュニケーションⅢ 4	総合的な探究の時間 1	HR 1	★専攻 1	音楽理論 1	音楽史 1	演奏研究 1	ソルフェージュ 3	○第一副科 1 第二副科 1	アンサンブル 1	合唱または合奏 2	自由選択 0～6			

※東京都必修教科「人間と社会」は2年次の総合的な探究の時間の中で実施します
 *1 身体表現(演劇基礎)2単位、身体表現(アクション)1単位、身体表現(ダンス)1単位
 *2 身体表現(舞踊基礎)1単位、身体表現(ボディコンディショニング)2単位、身体表現(日本舞踊)1単位

美術科

5つの専攻に分かれています

★日本画 ★油彩画 ★彫刻
★デザイン ★映像

▲木工、金工、陶芸、環境造形、CG、
アニメーション、写真から

1科目を選択

※映像専攻は2年次で映像文化研究(2単位)を履修するので、素描が2単位になります。3年次においては、専攻(8単位)、素描(2単位)となります。

※1年次の素描が美術Ⅰの代替科目となります。

舞台表現科

2つの専攻に分かれています

上段：演劇
下段：舞踊(以下の2コース)
クラシックバレエコース
コンテンポラリーダンスコース

◆演劇史は日本舞踊か狂言を選択

▲専門選択

演技研究、演出研究、戯曲研究、
舞台技術研究、ミュージカル、
ジャズダンス、クラシックバレエ、
コンテンポラリーダンス
上演演習から1科目を選択

◎芸術Ⅰは2年次に音楽Ⅰ、美術Ⅰ、工芸Ⅰから1科目を選択

音楽科

4つの専攻に分かれています

★器楽

鍵盤楽器(ピアノ)
管楽器(フルート、オーボエ、クラリネット、
ファゴット、サクソフォン、ホルン、
チューバ、トランペット、トロンボーン)
弦楽器(ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、
コントラバス)
打楽器(小太鼓、マリンバ)

()内は専攻楽器名を示します

★声楽 ★作曲 ★楽理

○ピアノ専攻は「伴奏法」、
他は「副科ピアノ」を選択

※1年次のソルフェージュが音楽Ⅰの代替科目となります。

美術科

授業

専門性の高い教育課程(3年間を見据えた年次進行による授業)を組み、1年次より5つの専攻(日本画、油彩画、彫刻、デザイン、映像)に分かれて、少人数グループ編成による授業を行っています。

日本画専攻

岩絵の具などの伝統的な画材での描画と、色や形への感覚を養うために素描・着彩を学び、上級学校への進学にも対応できるよう指導します。岩絵の具の扱いは初歩から始め、3年次の卒業制作では100号超の大作に取り組みます。

油彩画専攻

1年次では素描の基礎と、油絵の具の基本的な使い方を学び、2年次ではイメージ課題や作家研究などにも取り組んで創造性を高め、表現の幅を広げます。3年次は集大成としての卒業制作に取り組みながら、入試にも対応できる技術の修得を目指します。

彫刻専攻

もの作りに必要な彫刻の造形要素を、木炭素描、塑像、木彫など3年間を通して学習します。1・2年次では模刻や首像制作などを中心に、様々な素材に触れながら基礎から学び、3年次では卒業制作として等身大の人物像などの大作を制作しながら、大学入試で求められる技術、表現の修得を目指した指導を行います。

デザイン専攻

1年次では色彩や形態の基礎を学び、2年次では実際のデザインワークに近い感覚を、椅子のデザインやポスターの制作を通して学びます。3年次では、まとめとして卒業制作と、入試に対応した技術・表現の修得を目指します。

映像専攻

1年次に素描・写真・アニメーション・動画撮影・編集などの映像制作の基礎を学び、2年次には専門性の高い指導者(特別専門講師)による実践的な内容をきめ細やかに指導します。3年次では卒業制作を中心にそれぞれの卒業後の進路に応じた制作活動を行い、入試等にもつなげた指導を行います。



日本画



油彩画



彫刻



デザイン



映像



講評会

行事

美術分野の専門性と総合力を培う行事を行っています。授業課題に加え、個人制作や、その作品の展覧会企画経験の充実、本物の芸術に触れる機会の充実を図っています。

SCHEDULE

- 5月 有志展（～6月）
進路懇談会
実技実力テスト（3年次）
- 6月 多摩美術大学特別講座（2,3年次）
美術館鑑賞教室（2年次）
- 7月 夏季実技講習会
- 9月 武蔵野美術大学特別講座（1,2年次）
コンクール展
- 10月 野外写生（1年次）
- 11月 実技実力テスト（3年次）
- 12月 卒業制作展（東京都美術館）
美術館鑑賞教室（3年次）
- 1月 2年次展
- 2月 実技実力テスト（2年次）
1日モデル授業（1年次）
1年次展



野外写生



コンクール展（展示ホール）



美術館鑑賞教室



卒業制作展（準備風景）

進路

3年間専攻をしっかりと学んだ生徒は、さらに高度な専門教育を受けるため、大学等へ進学します。個々の目標達成のために面談等を繰り返し、進路実現を図っています。

進路状況（過去3年間の主な合格校）※合格総数（）は既卒生

学校名	3年度	4年度	5年度
東京藝術大学	16(13)	9(7)	9(7)
筑波大学			1
東京学芸大学	1		2
愛知県立芸術大学		1(1)	1
金沢美術工芸大学			1
多摩美術大学	18	15	33(6)
武蔵野美術大学	18	19(4)	39(4)
東京造形大学	2	9	12(2)
女子美術大学		3	(1)

学校名	3年度	4年度	5年度
東京工芸大学	2	4	4
日本大学		1	1
デジタルハリウッド大学			1
武蔵野大学			1
立教大学			1
法政大学			1
その他大学・短期大学等	4(2)		7
その他専門学校	3	3	3
留学等	1	1	1

主な指定校推薦一覧（令和5年度の場合）

武蔵野美術大学、東京造形大学、女子美術大学、女子美術大学短期大学部、東京工芸大学、横浜美術大学、東北芸術工科大学、立教大学、成城大学、玉川大学、文教大学、京都美術工芸大学、京都伝統工芸大学校、専門学校桑沢デザイン研究所ほか

舞台表現科

授業

専門性の高い約 100 名の特別専門講師(外部講師)によるきめ細かな指導を行います。

演劇専攻

演劇を総合的に理解し、演劇の力を自分自身の力として人の心を動かすことができる人間の育成を目指します。他者との創造的な協同作業を通じて、コミュニケーション能力を育て、自己理解を深め、視野を広げます。そのために、①戯曲をもとに演劇作品を創る授業と、②身体や声にフォーカスした身体表現系の授業を、3年間を貫く二つの軸として学びます。その周囲に狂言や日本舞踊の古典芸能の授業、またスタッフサイドから演劇を学ぶ授業などが配置されています。



演劇



●演劇専攻講師(主任) **西川 信廣 先生** Nishikawa Nobuhiro

PROFILE

文化庁派遣芸術家在外研修員として英国に滞在。ブリストル・オールドビックやロイヤル・ナショナル・シアターでロジャー・リース、ピーター・ホールなどの演出助手を務める。現在は文学座を中心に幅広く活動中。文学座アトリエの会『マイチルドレン!マイアフリカ!』にて紀伊國屋演劇賞個人賞、芸術選奨・文部大臣新人賞。文学座公演『背信の日々』で読売演劇大賞優秀演出家賞、他多数。新国立劇場演劇研修所副所長。新国立劇場理事。日本劇団協議会会長。日本演出者協会理事。

舞踊専攻

【コンテンポラリーダンスコース】

「技術」と「表現」の二つの柱を並行して学んでいきます。基礎と応用技術を習得しながら、即興から群舞・ソロ作品創作へと進みます。具体的には、仲間との共同作業を通して自己理解を深め、創作・演技及び衣裳・音楽の工夫に取り組み、プロの照明家の協力を得て舞台上演法について総合的に学び、舞台経験を豊かに積み重ねていきます。毎年、定期公演、成果発表会で作品を上演しています。



コンテンポラリーダンス



●コンテンポラリーダンスコース講師(主任) **片岡 康子 先生** Kataoka Yasuko

PROFILE

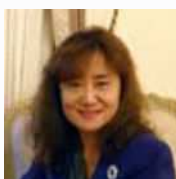
お茶の水女子大学教授としての研究教育活動を経て、現在同大名誉教授。文部省派遣在外研修員(91)。DANCE HOUSE を主宰(94)、国内外で公演活動を展開。作品はいずれも現代と人間の深部を照射した秀作として好評を博す。お茶大でのコンクール指導作品は4度の文部科学大臣賞を初めNHK賞他多数受賞。総芸では2度のNHK賞、優秀群舞賞他連続受賞。松山バレエ団顕彰「教育賞」(05)、全国舞踊コンクール優秀指導者賞他受賞。瑞宝中綬章受章(21)。

【クラシックバレエコース】

将来的に世界に通用するクラシックバレエの基礎技術を、在学中の3年間を通してしっかりと身につけることを大事にしています。1年次は定期公演にコールドバレエで参加することから始まり、3月の後期成果発表会で課題作品を踊ります。2・3年次には、技術をさらに磨きながら、授業で学んだ作品を定期公演、成果発表会で上演する体験を重ねていきます。舞台経験を通じて作品世界の理解と表現力を高めていきます。



クラシックバレエ



●クラシックバレエコース講師(主任) **押領司 博子 先生** Oryoji Hiroko

PROFILE

英国ロイヤルバレエスクールにてマリヨン・レイン、リン・ウォーレスに師事。橋バレエ学校卒業。牧阿佐美バレエ団入団。「NHKバレエのタベ」白鳥の湖、眠れる森の美女、くるみ割り人形等ソリストとして活動。牧阿佐美バレエ団所属各バレエ教室及び橋バレエ学校教師を経て等々力駅前サンスタジオにバレエクラスを開講。2004年 新川崎シティアーツ開講。

行事

【発表会】

- 5月 進路懇談会
- 6月 定期公演（演劇専攻3年次、舞踊専攻1～3年次生）校外劇場にて開催
- 7月 体験入学（在校生による実演）
- 9月 専門選択「演技研究」コメディア・デラルテ発表会（2・3年次選択者）
- 10月 前期成果発表会（演劇専攻2年次生、舞踊専攻1～3年次生）
- 12月 専門選択「クラシックバレエ」「コンテンポラリーダンス」「ジャズダンス」スタジオパフォーマンス（2・3年次選択者）
ファイナルパフォーマンス（舞踊専攻3年次生）ソロ創作作品を中心に発表
- 1月 演劇舞踊史「日本舞踊」発表会（演劇専攻2年次生「日本舞踊」選択者）
- 2月 演劇舞踊史「狂言」発表会（演劇専攻2年次生「狂言」選択者）
身体表現「日本舞踊」発表会（舞踊専攻1年次生）
- 3月 後期成果発表会（演劇専攻1年次生、舞踊専攻1年次生）
舞台表現「ゼロから劇をつくる」（創作劇）発表（演劇専攻2年次生）

【校外学習】「歌舞伎教室」「文楽教室」他、演劇・舞踊など様々な舞台作品を鑑賞

令和5年度第12回定期公演より



クラシックバレエ



コンテンポラリーダンス



演劇

進路

進路状況（1期生以降の主なもの）

【演劇専攻】

東京藝術大学音楽学部、お茶の水女子大学文教育学部、早稲田大学文化構想学部、明治大学文学部、明治学院大学文学部、兵庫県立芸術文化観光専門職大学、立教大学現代心理学部・経済学部、東洋大学文学部・ライフデザイン学部、洗足学園音楽大学音楽学部、桜美林大学総合文化学群、成城大学文芸学部、玉川大学芸術学部、跡見学園女子大学文学部、多摩美術大学美術学部、日本大学芸術学部、東京音楽大学音楽学部、東京工芸大学芸術学部、津田塾大学芸芸学部、桐朋学園芸術短期大学、新国立劇場演劇兼研修所、文学座附属演劇研究所、コクーンアクターズスタジオ、東京アナウンス学院

【コンテンポラリーダンスコース】

お茶の水女子大学文教育学部、筑波大学体育専門学群、埼玉大学教育学部、東京学芸大学教育学部、横浜国立大学教育人間科学部、琉球大学国際地域創造学部、尚美学園大学、日本女子体育大学体育学部、日本大学芸術学部、神戸女学院大学音楽学部、桜美林大学総合文化学群、和光大学現代人間学部、立教大学現代心理学部、成城大学文芸学部、明治学院大学文学部、洗足学園音楽大学音楽学部、文化服装学院、NBA バレエ団、カンパニーノイズム2、OSK日本歌劇団研修所、マンハイムバレエアカデミー（ドイツ）、フォルクバング芸術大学（ドイツ）、文化庁新進芸術家海外研修員（オランダ）、アムステルダム芸術大学（オランダ）、セントラルスクールオブバレエ（イギリス）、ミュンヘンインターナショナルスクール（ドイツ）、アルピンエイリースクール（アメリカ）、スクールオブトロントダンスシアター（カナダ）、アンジェ国立現代舞踊センター（フランス）、カレッジオブアーツアンブレラ（カナダ）

【クラシックバレエコース】

成蹊大学文学部、中央大学文学部、日本大学芸術学部、立教大学現代心理学部、跡見学園女子大学文学部、日本女子体育大学体育学部、玉川大学教育学部、昭和女子大学人間社会学部、昭和音楽大学短期大学部、大妻女子大学短期大学英文科、東京家政大学短期大学部、台湾大学文学部、新国立劇場バレエ研修所、劇団四季研究所、オリエンタルランド、ユニバーサルスタジオジャパン、ABC-TOKYO ユースカンパニー、ピクトリアアカデミーオブバレエ（カナダ）、オーストラリア国立バレエスクール（オーストラリア）、ナショナルシアターバレエスクール（オーストラリア）、ロイヤルバレエスクール（イギリス）、セントラルスクールオブバレエ（イギリス）、ロイヤルコンセルバトワールオブスコットランド（イギリス）、マンハイムバレエアカデミー（ドイツ）、ミュンヘンインターナショナルスクール（ドイツ）、リスボン国立コンセルバトワール（ポルトガル）、タリン国立バレエ学校（エストニア）、NBA バレエ団、Kバレエトウキョウ、新国立劇場バレエ団、スターダンサーズバレエ団、谷桃子バレエ団、東京バレエ団、牧阿佐美バレエ団、松山バレエ団、東京シティバレエ団、劇団四季、パーミンガムロイヤルバレエ団（イギリス）、ポルトガル国立バレエ団、フロリダアートバレエシアター（アメリカ）、ユタメトロポリタンバレエ団（アメリカ）、ブルノ国立バレエ団（チェコ）、プルセニ市立劇場（チェコ）、プカレスト国立歌劇場バレエ団（ルーマニア）

主な指定校推薦（令和5年度の場合）

立教大学、成城大学、洗足学園音楽大学、日本女子体育大学、玉川大学、昭和音楽大学、尚美学園大学、桐朋学園芸術短期大学

音楽科

授業

- 器楽、声楽、作曲、楽理の4つの専攻があり、各専攻の授業は専門性の高い指導者による個人レッスン形式で行います。
- ソルフェージュ（視唱、視奏、聴音）、伴奏法、副科ピアノ、アンサンブルの授業は、少人数クラスによりきめ細やかな指導を行います。
- 理論系の科目では、音楽史、演奏研究、音楽理論（楽典、和声、楽式等）などを学びます。
- 3年次には自由選択科目において、楽典、ソルフェージュ、楽式など専門性をより高めるための講座を選択することができます。
- 合唱・合奏の授業ではアンサンブル能力と実技の専門性を高めます。また、年に2回外部の先生をお招きしてさらに専門的な実技指導をしていただきます。
- 授業の成果を発表する場として、オーディション合格者による発表演奏会を行います。また、アンサンブルの授業発表会、2年次コンサート、卒業演奏会など、演奏の機会を多く設けています。

今年度お招きした先生方（50音順）

作曲専攻 上田 真樹 先生 Ueda Maki

PROFILE

東京都立芸術高校音楽科作曲専攻、東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。同大学院音楽研究科音楽学専攻博士課程修了。博士(学術)。
第12回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門第二位入賞。第18回朝日作曲賞(合唱組曲)受賞。
主な作品に、合唱組曲『夢の意味』、『鎮魂の賦』、『あめつちのうた』、『終わりのない歌』、オーケストラのための「あけぼの」など。NHK全国学校音楽コンクール、全日本合唱コンクールなど課題曲の作編曲も多く担当し、作曲コンクールの審査も務めている。
現在、国立音大、桐朋学園大、都立総合芸術高校、各非常勤講師。

器楽(ヴァイオリン)専攻 緒方 恵 先生 Ogata Megumi

PROFILE

2009年3月まで東京芸術大学弦楽器科非常勤講師、2010年9月まで東京芸術大学ソルフェージュ科非常勤講師、2024年3月まで上野学園大学教授を勤めた。
現在、上野学園短期大学客員教授、および東京芸術大学ソルフェージュ科非常勤講師。

声楽専攻 谷本 喜基 先生 Tanimoto Yoshiki

PROFILE

和歌山県出身。5歳よりピアノを始め、高校2年次に声楽に転向。東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。
現在は都内を中心に数々の合唱団の音楽監督、指導者を務めるほか、指揮者、ピアニスト、歌手、イングリッシュハンドベル奏者、またアレンジャーなど多岐にわたる活動を展開している。音楽団体「イコラ」代表。

器楽(ホルン)専攻 堂山 敦史 先生 Douyama Atsushi

PROFILE

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て同大学、マーストリヒト音楽院(オランダ)卒業。
第11回日本管打楽器コンクール第4位、第67回、第71回日本音楽コンクール入選、第1回東京音楽コンクール金管部門第2位等の賞歴も多数。
帰国後は新星日本交響楽団(東京フィルハーモニー交響楽団と合併)の副主席契約ホルン奏者、東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校非常勤講師を経て現在、東京芸術大学藝大フィルハーモニア管弦楽団に所属。ソロや室内楽の活動にも意欲的に取り組み、東京ニューシティー管弦楽団(現パンフィックフィルハーモニア東京)、九州交響楽団等と共演。今までにホルンを三好隆三、山本真、守山光三、松崎裕、E. ベンツェル、W. サンダースの各氏に師事。

声楽専攻 松原 みなみ 先生 Matsubara Minami

PROFILE

東京芸術大学音楽学部声楽科、同大学院音楽研究科修士課程(独唱)、博士後期課程(独唱)修了。博士号(音楽)を取得。ウィーン国立音楽大学オペラ科を審査員満場一致の首席(最優秀)で修了。
第24回友愛ドイツ歌曲コンクール一般の部第二位ならびに、日本歌曲賞受賞。Jan Kiepura 国際声楽コンクール R. シュトラウス賞受賞。第91回日本音楽コンクール声楽部門(歌曲)第一位、ならびに木下賞、畑中賞、E. ナカミチ賞受賞。

器楽(クラリネット)専攻 吉崎 めぐみ 先生 Yoshizaki Megumi



© 中村綾子



専攻レッスン



アンサンブル



アンサンブル



ソルフェージュ



聴音

行事

音楽分野の専門性と総合力を培う行事を行っています。授業課題に加え、個人の専攻の成果を発表する機会の充実、本物の芸術に触れる機会の充実を図っています。

SCHEDULE

- 4月 オーディション(非公開)
専攻レッスン保護者参観(非公開)
- 5月 ※プチ・コンセル(講堂棟ホール)(14日)
進路懇談会(22日)
- 6月 発表演奏会(東京文化会館小ホール)(7日)
- 7月 合唱授業の公開(講堂棟ホール)(5日)
合奏授業の公開(講堂棟ホール)(12日)
音楽科体験入学(24～26日)
(在校生コンサート・公開レッスン)
- 10月 音楽科授業発表会(講堂棟ホール)(19日)
- 11月 合唱授業の公開(講堂棟ホール)(15日)
公開レッスン(講堂棟ホール)(22日)
合奏授業の公開(講堂棟ホール)(29日)
- 12月 ※プチ・コンセル(講堂棟ホール)(6日)
卒業演奏会(講堂棟ホール)(7日)
- 3月 ※プチ・コンセル(講堂棟ホール)(6日)
2年次コンサート(講堂棟ホール)(9日)

モーニングコンサート(通年・不定期で実施)
※プチ・コンセルとは生徒主体によるコンサートです。

上記以外にも公開レッスンや公開講座を行います。事前のお申し込みが必要な催しもありますので、詳しくは本校ホームページをご覧ください。随時情報を更新してまいります。

7月および11月の合唱授業の公開日には三宅悠太先生にご指導いただけます。



三宅 悠太 先生 Miyake Yuta

東京藝術大学作曲科卒業、同大学院作曲専攻修了。奏楽堂日本歌曲コンクール第12回作曲部門第1位、第79回日本音楽コンクール作曲部門(オーケストラ作品)第1位、併せて岩谷賞(聴衆賞)および明治安田賞受賞。管弦楽、室内楽、舞台音楽、合唱曲、ほか多岐に渡る作編曲を手がける。聖心女子大学、エリザベト音楽大学、都立総合芸術高校 各講師。

7月および11月の合奏授業の公開日には高橋裕先生にご指導いただけます。



高橋 裕 先生 Takahashi Yutaka

東京藝術大学音楽学部作曲科を経て同大学院作曲専攻修了。世界仏教音楽祭コンクール第1位、国際カール・マリア・フォン・ウェーバー室内楽コンクール第1位、第1回芥川作曲賞等を受賞している。指揮者としては東京フィルハーモニー交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、京都アルティ合奏団等の他、合唱や邦楽とオーケストラの曲や、自作のオペラ等も指揮している。東京藝術大学音楽学部、同附属音楽高等学校、名古屋音楽大学で長く後進の指導していた他、現在は大阪芸術大学客員教授としても活動している。

尾山桂子氏によるリトミック体験レッスンを開催予定です。



尾山 桂子 先生 Oyamai Keiko

国立音楽大学教育音楽学科第II類(リトミック専攻)卒業
ロンジー音楽学校サマーコースにてダルクローズリトミックをリサ・パーカー、アン・ファーバー、カリン・グリーンヘッド、ルース・アルパーソンに学ぶ。
国立音楽大学附属中学校高等学校非常勤講師、並びに国際音楽療法専門学院、MIWA シンフォニア保育園、音楽教室ジャックと音楽の木講師を勤める他、放課後リトミック音楽教室「音の器」主宰。また、大学や専門学校のゲスト講師として音楽を専攻しない学生のためのリトミックの授業や、福祉施設にて音楽レクリエーションも行っている。
日本ジャック＝ダルクローズ協会理事。

催し一覧

- 5月 本田聖嗣氏によるピアノ公開レッスン
桐榮哲也氏によるピアノ公開レッスン
- 6月 松本健司氏による
クラリネット公開レッスン
- 7月 萩原みか氏による声楽公開レッスン
本田聖嗣氏によるピアノ公開レッスン
緒方恵氏による
ヴァイオリン公開レッスン
- 8月 尾山桂子氏によるリトミック体験レッスン
大城正司氏によるサクソフォーン公開レッスン
- 9月 須関裕子氏によるピアノ公開レッスン
- 11月 ギグラ・カツアラヴァ氏による
ピアノ公開レッスン

進路

3年間専攻をしっかりと学んだ生徒は、さらに高度な専門教育を受けるため、大学等へ進学します。個々の目標達成のために面談等を繰り返し、進路実現を図っています。

進路状況 (過去3年間の主な合格校) ※()は既卒生

学校名	3年度	4年度	5年度
東京藝術大学	8(2)	13(3)	12(2)
京都市立芸術大学	1		
桐朋学園大学	4(1)	5	3
東京音楽大学	11(1)	13(2)	11(4)
国立音楽大学	4	5(2)	1

学校名	3年度	4年度	5年度
武蔵野音楽大学	2	2	5
洗足音楽大学	3(1)	2	2
昭和音楽大学	1	1	2(1)
日本大学芸術学部	2(1)	3(1)	1

進路懇談会では卒業生や社会人の方にもお越しいただきお話を伺います。

学校生活

全体行事

各科の行事だけでなく、三科全体で行う行事もたくさんあります。遠足や芸術鑑賞教室、約半年間をかけて準備をする文化祭など総芸ならではの行事が盛りだくさんです。

- 4月 入学式
新入生歓迎会
防災訓練
- 5月 遠足
生徒総会
健康診断
- 6月 授業公開
- 7月 芸術鑑賞教室
- 9月 文化祭
- 11月 授業公開
修学旅行(2年次)
生徒総会
- 3月 三送会
卒業式



文化祭



入学式



文化祭



1年次遠足



新入生歓迎会



修学旅行



防災訓練

部活動・同好会

全日本高校・大学ダンスフェスティバル（神戸）に毎年参加して好成績をあげているコンテンポラリーダンス部、プチコンセール部、カレー部、殺陣部、メサイア研究部などユニークでバラエティに富んだ部活動、同好会など、科は違えども同じ趣味や目的をもって日々活動しています。

部活動 19

演劇 写真 漫画研究 ジャズ研究
プチコンセール カレー メサイア研究
ヴォーカルアンサンブル 殺陣 茶道 陶芸
軽音楽 映像放送制作 テニス 空手道 ダンス
コンテンポラリーダンス 造形 園芸



演劇部



造形部



殺陣部



空手道部



コンテンポラリーダンス部

第35回全日本高校・大学ダンスフェスティバル（神戸）
特別賞 作品「心よ、光を取り戻せー規制解除ー」



写真部

第30回全国高等学校写真選手権大会
「写真甲子園2023」東京代表 優秀賞

生徒会

一番大きな仕事は文化祭の運営です。装飾やステージの運営など表に立つ仕事ばかりではなく、表舞台から見えにくい仕事もこなす、総芸行事の屋台骨です。

生徒会長（3年次 美術科）

本校の生徒会は、10月に行われる生徒会役員選挙により1、2年次生から選出されます。14期生徒会は、とても仲が良く、全員が仕事に対して熱心です。生徒会活動の中で最も大きなイベントは文化祭です。歴代生徒会の文化祭運営を振り返りながら、コロナ明けの新たな「総芸らしさ」を創り出せるよう学校全体を引っ張っていきます。



本校の期待する生徒の姿

本校は都立で唯一の芸術に関する高度な専門教育を行う全日制単位制高校であり、特定の芸術の領域に偏らない総合的な芸術全般に関する見方や考え方を学ぶことができる学校です。

本校では、芸術各分野での高度な専門性を備え、豊かな教養や広い視野をもち、芸術活動を通じて社会に貢献することのできる人間の育成を目指しています。

美術科

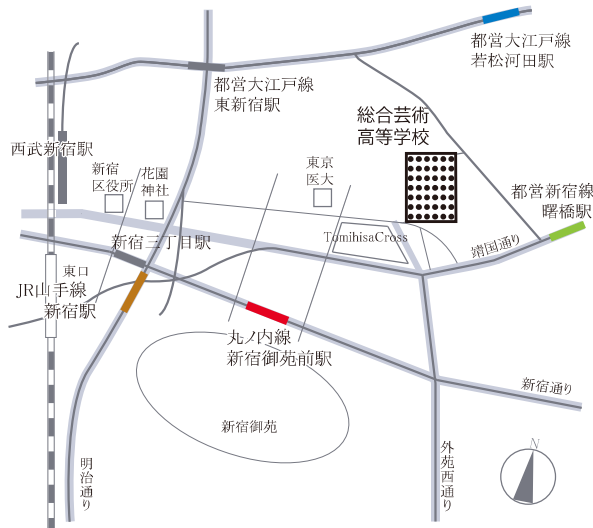
- 1 本校美術科志望の意志が強く、芸術全般を愛好し、明確な目的意識をもって学習に取り組む生徒
- 2 絵画（日本画・油彩画）、彫刻、デザイン、映像のいずれかの専攻に対する適性及び優れた能力をもつ生徒
- 3 学習成績が良好であり、学校生活全般を通して自らを向上させる意欲のある生徒

舞台表現科

- 1 本校舞台表現科志望の意志が強く、芸術全般を愛好し、明確な目的意識をもって学習に取り組む生徒
- 2 演劇、舞踊のいずれかの専攻に対する適性及び優れた能力をもつ生徒
- 3 学習成績が良好であり、学校生活全般を通して自らを向上させる意欲のある生徒

音楽科

- 1 本校音楽科志望の意志が強く、芸術全般を愛好し、明確な目的意識をもって学習に取り組む生徒
- 2 器楽、声楽、作曲、楽理のいずれかの専攻に対する適性及び優れた能力をもつ生徒
- 3 学習成績が良好であり、学校生活全般を通して自らを向上させる意欲のある生徒



〒162-0067 東京都新宿区富久町2-2-1

TEL 03-3354-5288
FAX 03-3354-6322

令和6年度 学校説明会・体験入学・見学会・授業公開等

全ての催しについて、事前申し込み（電子申請）による入場者制限等を予定しています。詳細は本校ホームページをご確認ください。

【授業公開】

- ・令和6年6月21日(金)、令和6年11月15日(金)
受付開始：開始時刻の10分前より 校舎棟エントランスホールにて
公開時間：(1) 8:40~10:30 (2) 10:40~12:30
(3) 13:20~15:05

【施設見学会】

- ・令和6年7月31日(水)、令和6年8月21日(水)
詳細は本校ホームページをご確認ください。

【体験入学】

■美術科

- ・令和6年7月20日(土)、令和6年7月21日(日)
詳細は本校ホームページをご確認ください。

■舞台表現科

講座の一つ選び応募します。

演劇

- ・令和6年7月20日(土) 第1回 10:00~ 第2回 14:00~
・令和6年7月21日(日) 第3回 10:00~ 第4回 14:00~

舞踊

- ・令和6年7月20日(土) 第1回 9:00~ 第2回 11:00~
第3回 14:00~
・令和6年7月21日(日) 第4回 9:00~ 第5回 11:00~
第6回 14:00~

■音楽科

- ・令和6年7月24日(水)~26日(金)
聴音及び視唱の体験授業とピアノレッスン及び公開レッスン聴講
模擬授業見学及び在校生コンサート
体験授業とピアノレッスンは両方受講していただけます。

【学校説明会】

※開場は、開始時刻の30分前です。

入学者選抜の詳細な内容について、この会で説明します。

- ・令和6年10月5日(土)
9:30~ 音楽科、12:00~ 舞台表現科、14:30~ 美術科
- ・令和6年11月2日(土)
9:30~ 音楽科、12:00~ 舞台表現科、14:30~ 美術科
会場：本校講堂棟ホール

【文化祭】

- ・令和6年9月22日(日)、令和6年9月23日(月)
展示、映像上演、舞台上演、その他

※受検を希望する中学生、一般の方のご来場の可否、受付方法については現時点では未定です。決定次第ホームページに掲載します。

Access

- 都営新宿線「曙橋駅」下車 A2出口 徒歩9分
- 東京メトロ丸ノ内線「新宿御苑前駅」下車 大木戸門口 徒歩11分
- 東京メトロ副都心線「新宿三丁目駅」下車 C7出口 徒歩15分
- 都営大江戸線「若松河田駅」下車 河田口 徒歩12分

表紙 美術科 彫刻専攻(令和5年度卒業)
山川侑亜 「凧」

東京都立総合芸術高等学校の公式ホームページ
<https://www.metro.ed.jp/sogo-geijutsu-h/>



東京都立総合芸術高等学校の公式インスタグラム
@TOKYO.SOUGOU_GEIJUTSU.H
https://instagram.com/tokyo.sougou_geijutsu
h?igshid=OGQ5Zdc2ODk2ZA==



リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。